

第7回自動車整備技術の高度化検討会 議事概要

1. 日時：平成25年3月4日(月) 16:00～17:30

2. 場所：経済産業省別館 11階 1111号会議室

3. 出席者：

須田委員、古川委員、廣中委員、松井委員、野口委員、渡辺委員、福内委員
中嶋委員、高橋委員、杉山委員、森本委員、今田委員代理、大森委員、島委員

4. 議事概要

(1) 一級整備士に係るアンケート調査実施の概要

事務局より資料3について説明があった。

(2) 報告書骨子案の審議

事務局、中嶋委員より資料4について説明があった。

主な意見等は次のとおり

【環境整備関係】

・ 高橋委員

汎用スキャンツールの現状について、（一社）日本自動車機械器具工具協会とりまとめの販売台数及び伸び率も加筆していただきたい。標準仕様スキャンツール普及に向けた考え方も整理する必要がある。

・ 古川委員

点検整備に関する情報や整備機器の国際化について、推進していくような書きぶりにできないか。

【人材育成関係】

・ 渡辺委員

一級整備士資格取得の優位性に関連して、一級整備士に優位性が付与された際、一級整備士受験者が増加することが考えられるため、試験の受入体制も考慮する必要がある。

・ 廣中委員

新技術に対応した整備士養成課程の教材等の改訂の必要性において、ABSは最新とは言い難いので、ASVとしてはいかがか。また、代替燃料の箇所燃料電池車の普及が求められているため、加えていただきたい。

整備技術のIT化、ネットワーク化の推進において、「整備技術情報」「診断情報」「点検整備情報」など似て非なる用語や「高車齢車」といった聞き慣れない用語があるため、整理したほうがよい。

- ・ 杉山委員

今回一級については検討され方向性が示されたが、今後スキャンツール等の利用が進む中で、二・三級整備士の質・量を確保していくことも大変重要である。二級整備士や三級整備士も含めた整備士全体についても、質と数をどのように確保するのか、待遇改善等、整備士の魅力向上のための対応策を考えていかなければならない。

- ・ 森本委員

教科書改訂については、このまとめに沿った方向性で、別途委員会等を召集して内容検討を行うと理解している。昨年の資格制度活用WGで教科書の内容については、多くの意見を集めている。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局から資料5に沿って説明を行い、第8回検討会を3月目途に開催することで了承された。